【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校名

達成度(評価)

- A:十分達成できている
- **B**: おおむね達成できている C:やや不十分である
- **D**: 不十分である

- 1 前年度 評価結果の概要
- ・一人一台の学習者用端末の活用については、全職員で研修を行い、授業活用のスキルアップを図った。次年度も、引き続き活用し、全職員のスキル維持、さらなるスキルアップを図っていく。また、家庭へ持ち帰る頻度も増やし、家庭学習での有効活用を検討していく必要がある。同時に、正しい活 用ができるように、情報モラル教育の充実も図っていかなければならない。
- ・算数科の校内研究を中心として、児童の学力向上を目指し、研修を深めてきた。学習状況調査が県平均を上回る結果であったが、今後も知識・技能を確実に身に付けさせ、児童同士の対話を活性化し、深い学びとなるようにさらに授業力向上に努めていく必要がある。
- 常に新型コロナウイルスの感染拡大防止を意識し、全職員で日々感染対策を行ってきた。すべきことを確認し合い、情報共有し、児童の安心・安全な学校生活を保つことができた。今後も、安心・安全な学校生活の保持のため、心身を強く、たくましく育む教育に取り組んでいく。
- 心豊かに、創造性を発揮し、たくましく生きる子どもの育成 ~幸せいっぱい 白石小学校~ 学校教育目標
 - ①一人一台の学習者用端末の学校内外での活用推進を図る。
- 3 本年度の重点目標
- ②算数科の校内研究を中心とした授業力向上に努め、児童の学力向上を図る。

白石町立白石小学校

重点取組			中間評価		5 最終評			
重点取組								
	共通評価項目 重点取組		中間評価		最終評価		学校関係者評価	
取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	〇(学校独自成果指標・任意) 自分の考えをもち、課題解決をしていこうとする児		(at jud/		(aT IIII)			
児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者 の思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動 る心など、豊かな心を身に付ける教育活動	した児童・保護者が80%以上	・授業後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学級通信等で保護者に						
	ための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員が80%以上 〇いじめ等の対応や指導を適切に行っていると答	・人権集会(教室)を計画的に実施する。 ・学級経営案に沿って、学期ごとにPDCAを行う。 ・気になる児童については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応						
		・自分の目標や将来の夢について考える機会を授業の中に設定する。・地域の方や様々な専門家の話を聞く機会を設ける。						
	70%以上 〇朝食をとる児童90%以上	はん、歯みがき、ゲームの時間等について振り返らせる。						
	児童が80%以上	・外遊びウィーク(12月)を設定し、外遊びを推奨する。						
業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	以下	たりする。						
	きる職場だと思える職員80%以上	・ストレスチェックを行い、各自の心の状態を把握する。 ・職員同士が気軽に話せる時間を設定する。						
) () () () () () () () () () (児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者の思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動る心など、豊かな心を身に付ける教育活動いじめの早期発見、早期対応体制の充実 児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意的に取り組もうとする教育活動 望ましい生活習慣の形成」 運動習慣の改善と体力づくり 業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 学校組織、教職員集団としての働きやすい雰	交内研究の充実	使内研究の充実	図学校園自成果排揮・任意)	②(学校独自成果指揮・任意) ・	② (学校独自成果指揮・任意) 自分の考えをもう、課題解決をしていこうとする児 密が89%以上 ・児童が日かなりのが表をもり、課題解決をしていこうとする児 密が89%以上 ・児童が日かなど、豊かな心を身に付ける教育活動 ・した児童・疾媒をからのなど、豊かな心を身に付ける教育活動 ・した児童・疾媒をからのなど、豊かな心を身に付ける教育活動 ・した別恵・疾媒をからのなど、豊かな心を身に付ける教育活動 ・した別恵・疾媒をからいな上 のいたのあの政能・事実対処毒)について組織的対応が、できていると含える経験者が80%以上 のいたのあの政能・事実対処毒)について組織的対応が、できていると自居性した教育が80%以上 のいたのからいといか等の対応や相称を適切に行っていると含える経験者が80%以上 のいたのからいといか等の対応や相称を適切に行っていると含える経験者が80%以上 の国をとした児童が80%以上 の国をした児童が80%以上 の国をとも兄童空のも以上 の国をとも兄童空のも以上 の国の政能・事をも規定のいた。 ・地域の方や様々な専門家の話を聞く機会を授業の中に設定する。・地域の方や様々な専門家の話を聞く機会を投する。 ・理ましい生活習慣の形成」 ・タキ年の日種総接時間までに寝る児童 つから日様や将来の夢について考える機会を授業の中に設定する。・地域の方や様々な専門家の話を聞く機会を設ける。 ・理が1、日本のな善について後り返らせる。・実施前に保健指導を行い、目標を打てさせる。・実施前に保健指導を行い、目標を打てさせる。・疾護前に保健指導を行い、目標を打てさせる。・疾滅前に保健指導を行い、目標を打てさせる。・疾滅前に保健指導を行い、日標を近てさせる。・・外遊びかための具体的な方策を考えている児童が80%以上 の場合を決定し、イベトの適営・企画をする。・・外遊び・イーク(12月)を設定し、外遊びを推奨する。・・外遊び・イーク(12月)を設定し、外遊びを指揮する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	○ (学校独自成業指揮・任意) 自分の考えをも、課題解決をしていこうとする児童 自分の考えをも、課題解決をとていこうとする児童 か80%も以上 かからの考えをも、課題解決をとていこうとする児童 が80%も以上 立てをとりながら農業を行う。 立てをとりながら農業を行う。 からのよいと、豊かなのを身に付ける教育活動 した児童・保護者が80%は上 知らせる。 「根素後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学塾通信等で保護者に知らせる。 「根素後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学塾通信等で保護者に知らせる。 「根素後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学塾通信等で保護者に知らせる。 「投票後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学塾通信等で保護者に知らせる。 「投票後、ワークシートに振り返りや感想を書かせ、学塾通信等で保護者に知らせる。 「大きな後事を書かせ、学塾通信等で保護者に知らせる。 「大きな後事を書かせ、学塾通信等で保護者に知らせる。 「大きな後事を書かせ、学塾通信等で保護者に知らいても、日本のから取組・業業対理等について組織的対応が、できていると回答上た教育がの場合とした児童が80%以上 「日分の日標や相乗の夢については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応第二といっている場合。 「中国の日標を相乗の夢については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応第二といている場合。 「中国の日標を相乗の夢については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応第二といて協議する。 「中国の日標を相乗の夢については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応第二といて協議する。」 「日分の日標や相乗の夢については、毎週水曜日の職員連絡会で共通理解し、対応第二といて協議する。 「中国の日標を相乗の夢については、毎週水曜の課をと得定の中に設定する。 「地域の方や特々な専門家の記を他代機会を設ける。 「中国の日間等については、毎週水曜の課をと得定を申に設定する。」 「中国の日曜・代本、本門、中国の日曜・代本、本門、日本ので、大きなので、大きなので、大きないを書きる。」 「中国の日曜・代本ので、大きないを書を記まする。」 「中国の日本では、大きないを書きる。」 「中国の日本では、大きないを書きる。」 「中国の日本では、大きないを書きる。」 「中国の日本では、大きないを書きる。」 「中国の日本では、大きないを書きる。」 「中国の「本ないを書きる。」 「中国の「本ないを書きる。」 「中国の「本ないを書きる」 「中国の「本ないを書きる」」 「中国の「本ないを書きる」 「中国の「本ないを書きる」」 「日のの事を会まする。 「中国の事を会まする。 「中国の事を会まする」 「日のの事様をままする」 「日のの事様を表まする」 「日のか教徒を書する。 「日の日本が教徒と思える。 「国日のかな様を定する。 「国日のかな様を発生する。 「日日のかな様を発生する。 「日日のかな様を発生する。 「日日のかな様を発生する。 「日日のかな様を発生する。 「日日のかな様を発生する。 「日日のでは様を発きる。 「日日のでは後を発きる。」 「日日の事様を含まる。」 日日の事様を含まる。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。」 「日日の事を発生する。 「日日の事を発生する。」 「日日の事を発生する」 「日本の事を発生する」 「日本の事を発	②(学校独自成集用権・任象) 自分の考えをもた。理動学をしていこうとする児 別恵生徒が、自他の生命を草重する心、他者 の思いやいさ社会性、他理観や戸薬感、感動 たた児童・保護者が80%以上 の心と、豊かないを身に付ける教育活動 できているの原名。 「大きの原名。 「大きの原る。 「大きの原名。 「大きの原名。」 「大きの野の原名。」 「大きの原名。」 「大きの原名。」 「大きの野の原名。」 「大きの野の原名。」 「大きの原る。」 「大きの野の原名。」 「大きの野の原名。」 「大きの野の原名。」 「大きの野の原名。」 「大きの野の原名。」 「大きの原名。」 「大きの原名。

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			50.05	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
OICT利活用教育	用推進	○学習者用端末の有効な活用法を熟知している教師が80%以上 ○学習者用端末を活用して主体的に学習することができる児童80%以上	・校内研修で学習者用端末の活用法を提案する。 ・授業の中で学習者用端末の活用場面を仕組む。								
〇図書館教育	○読書活動の充実	〇年間読書100冊に達した児童が90%以上	・多読賞や読書マスターの表彰、「100冊達成の掲示」を継続する。 ・図書館イベントの開催や公共図書館との連携、家読の推進、学校の読書 活動のお知らせを図書館便りで伝えることで、多くの本と出会う機会を作る。								
〇安全教育	○危機対応力の育成 		・年3回の避難訓練を実施し、職員・児童の危機対応力を高める。 ・月1回の安全点検を確実に遂行する。								

- ●・・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育
- 次年度への展望